

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	092 国際戦略総合特区推進事業					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課	
市長公約				係名	共創イノベーション係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	総合特別区域計画			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の概要

対象	市内の研究機関、企業等
目的	特区プロジェクト等の推進や新たなプロジェクトを創出、推進するため
概要 (取組内容)	組織の垣根を超えた新しい産学官連携の核となる組織（一社）つくばグローバル・イノベーション推進機構（TGI）と連携し、特区プロジェクト等を創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	9,603	9,851	9,265	9,540	9,540	
	決算額	(千円)	8,973	9,307	9,208	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,973	9,307	9,208	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,054	2,264	2,982	2,763	2,763	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.30	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	90.25	90.25	90.25	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	連携企業数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	486.0	641.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	616.0	685.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進による産業化促進のための連携企業数（累計）※H29年度～R2年度第2期計画の指標、※H28年度までは新たなプロジェクト創出数					

2	指標名	連携企業数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	180.0	360.0	540.0	720.0
	実績	0.0	0.0	194.0	461.0	580.0	0.0
	指標の概要	科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進による産業化促進のための連携企業数（累計） ※R3年度～R7年度第3期計画指標、第2期の指標を継続設定					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特区ホームページのリニューアルを実施して情報発信を行った。	
成果	TGIを中核組織として、技術相談のワンストップ窓口支援や創薬プロジェクト（つくばライフサイエンス推進協議会に関する事業）の運営会議や機関訪問を定期的で開催して研究機関と企業のマッチング機会を創出した。	
課題	業務	・特区プロジェクトは専門性が高いため、市民が理解しやすいような情報発信
	組織、予算等	・第三期（令和3年度から令和7年度）も後半になり、既存プロジェクトの継続と終了の整理が必要。
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法を工夫しながらの情報発信 ・既存プロジェクトの継続と終了の判断について茨城県とTGIと連携して定期的の方針検討する。 	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	094 市内大学・研究機関等との連携事業					
予算科目	01-020108-17 科学の街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課	
市長公約				係名	科学の街推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市内大学・研究機関・企業・研究交流事業や科学技術啓発事業等を行う団体					
目的	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）で掲げた基本理念の実現に向け、研究機関等との連携を戦略的に進めることにより、専門的知見を活用した行政体制の構築、防災体制の強化等に資する。					
概要 (取組内容)	市内各大学・研究機関のそれぞれの特徴をいかしながら、基本協定の締結や連携事業を推進する。					

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	5,965	668	1,754	17,541	1,754	
	決算額	(千円)	5,937	911	613	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,642	911	613	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,295	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,358	6,891	7,271	7,271	7,271	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	215.33	33.00	150.00	150.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	新規協定締結数 (件)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	3.0	1.0	1.0	1.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	連携事業数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	22.0
	実績	31.0	28.0	34.0	25.0	44.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国総研、物材研、筑波実験植物園、環境研究所等の広報窓口機関への訪問・意見交換を通じてコミュニケーションを図り、連携強化に向けた関係づくりを行った。
成果	サイエンスインフォメーションや広報紙への情報掲載等、研究機関の広報支援を行うことで、市民にもメリットのある研究機関に関する情報発信を行うことができた。JAXAとの連携により、筑波宇宙センター50周年記念式典に市内中高生を招待した。また、環境研究所の広報など新たな連携ルートを開拓し、STEAMコンパス等の市事業への協力も得ることができ、連携関係を拡大、強化することができた。
課題	業務 組織、予算等 連携先の新規拡充を進めるには人員が不足している。
改善目標	限られた人員で関係機関との円滑な関係構築を行うためには、協力事業や形態の選択と集中により、より効果的な連携推進を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	097 ロボットの街つくば推進事業					
予算科目	01-020108-18	ロボットの街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課
市長公約					係名	共創イノベーション係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）				事業期間	毎年度
根拠法令等	「ロボットの街つくば」の実現に向けて（提言）、新たなつくばのランドデザイン				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	ロボットの実用化や人材育成、先進技術・データを活用したまちづくりを行い、超高齢化社会及び低炭素社会への対応、観光等の地域活性化に貢献する。
概要 (取組内容)	搭乗型移動支援ロボットに関する実証実験やつくばチャレンジ、Global Innovation Challenge等のロボット実験を通じて、国に規制緩和を要望していくなど、ロボットの実利用環境の構築及び社会実装を推進する。 国のMaaS(Mobility as a Service)の取組との連携や他自治体、大学、民間事業者等との新たな連携など、次世代モビリティの社会実装に係る取組を推進する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	5,594	7,470	5,099	4,793	4,793	
	決算額	(千円)	4,805	0	4,023	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,805	0	4,023	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,054	7,031	7,126	7,126	7,126	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	90.25	90.25	90.25	90.25	90.25
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報誌、区会回覧、ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	イベント見学、小中学生のつくばチャレンジ運営体験イベントの実施
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	ロボットのまち中実証実験数（種類）					（ 件 ）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	実績	10.0	3.0	2.0	3.0	4.0	0.0	
指標の概要	ロボットのまち中実証実験数（種類）※H26年度までの指標は、実験回数、実験走行距離（目標値：150回、5,000km / 実績値：153回、3,653km）							

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくばチャレンジでは、認知度向上のため新たな実験場となる場所の選定を行った。 Global Innovation Challengeにおいては、コンテストの理解促進のための周知を行った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> つくばチャレンジは現地開催（実験走行9回、本走行1回）に加え、ショッピングセンター「イーアスつくば」とつくばセンター広場において実施した GlobalInnovationChallengeは、初の現地開催を実施。コンテスト開催にあたり、周辺住民を招待して、周知促進を行った。 	
課題	業務	つくばチャレンジ運営体験会に参加する小中学生が前年度から減少。認知度向上が必要。 Global Innovation Challengeの技術について、周辺のみならず市民の認知度向上が必要。
	組織、予算等	セグウェイ保守サービスが2024年10月に終了することに伴う、保有するセグウェイの管理方法
改善目標	つくばチャレンジ運営体験会の取組に対する認知度の向上を図り、参加者数の増加に繋げる。 Global Innovation Challengeについて、全市民向けに周知を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	095 次代を担う人材育成と科学技術の理解の醸成事業（科学教育推進事業）					
予算科目	01-020108-17 科学の街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課	
市長公約	31-1			係名	科学の街推進係	
戦略プラン	Ⅲ-2	1	3	科学教育の推進と批判的思考の育成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）、つくば市教育大綱、つくば市教育振興基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	08働きがいも経済成長も
						09産業と技術革新の基盤をつくろう
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	児童・生徒、市内大学・研究機関・企業・研究交流事業や科学技術啓発事業等を行う団体
目的	大学・研究機関・企業等の集積を生かし、科学技術関連イベントを連携して実施・開催すること等を通じて、次代を担う人材育成や一般市民の科学技術に対する理解醸成を図る。
概要 (取組内容)	つくば科学教育マイスター制度や体験型科学教育事業等を通じて科学教育を推進する。 筑波大学と連携し、地域の特色ある研究者を紹介するコンテンツ事業とコミュニケーションを重視した体験型イベントを実施する。 SNS広告を活用し、科学技術関連情報に興味・関心を持つ層に対してニーズに応じた情報を発信する。 つくばサイエンス・アカデミーと連携し、飛躍的な研究成果が期待できる若手研究者につくば奨励賞を授与する。 科学の甲子園全国大会等の科学イベントを市内で開催する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	10,589	7,806	13,232	14,358	15,516	
	決算額	(千円)	9,094	6,691	11,493	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,571	6,691	5,202	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,523	0	4,195	0	0
		その他	(千円)	0	0	2,096	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,958	7,006	14,129	14,129	14,129	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	51.00	80.00	130.00	130.00	130.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	協力研究者、学校等へのアンケート

指標の推移

指標名	体験型科学教育事業の延べ参加者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
実績	495.0	57.0	246.0	346.0	437.0	0.0
指標の概要	つくば市SDGs未来都市計画：Ⅲ 未来をつくる人が育つまち 指標：つくばSTEAM コンパス事業の延べ参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	STEAM教育授業について、市内小・中学校での実施校数を5校に拡大した。	
成果	市内小・中学校5校でSTEAM授業を実施するとともに、協力人材を確保する方策を検討した。筑波大と連携し、中高生に共感を得やすい漫画による研究者紹介の発信と、研究者と学生が対話するイベントを実施した。SNS広告により情報発信を強化した。若手研究者の研究支援を目的に、つくば奨励賞を授与した。科学の甲子園全国大会を市内で開催し、高校生にモビリティでのおもてなし等により科学の街のPRを行った。	
課題	業務	STEAM教育授業については、将来的な自走化に向け、研究者等の協力人材の確保が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	STEAM教育の自走化に向けた人材確保に向けたプログラムの実行を進める。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	市内小中学校でSTEAM教育を展開することは国の方向性とも合致しており、デジタルの力を活用したSTEAM教育環境を構築する本事業は、「デジタル田園都市構想」が実現を目指す地方創生に寄与する取組である。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	009 未来共創プロジェクトの実施					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課	
市長公約				係名	共創イノベーション係	
戦略プラン	IV-1	1	1	未来共創プロジェクトの実施	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の概要

対象	全国の企業、研究機関、教育機関等
目的	官民協働による近未来技術等の社会実装の推進を図る。
概要 (取組内容)	市内において新しい未来を創るための先端技術や近未来技術等を取り入れようとする者に対し、実証実験の提案を受け付ける窓口を開設し、実証実験の支援等を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,844	5,668	2,982	2,982	2,982	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.80	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	45.13	90.00	90.00	90.00	90.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	実証実験の関係者やモニターとしての協力
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	実績	6.0	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0
	指標の概要	(IV-1-①新たな共創の仕組みづくり) 未来共創プロジェクト事業への申請件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	運営体制について、採択後の実証スキームが円滑に進むよう、関係（担当）部署へのつなぎ方について見直しを行った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3件の相談受付があったが、本事業での実証実験には至らなかった。一部の案件については、相談受付後、関係部署への相談を丁寧に行い、担当課によるトライアルの実施につなげることができた。 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証実験の成果を本市の課題解決に繋げること。 ・ 提案受付を効率的に行うスキームを検討すること。 ・ 事業の認知度向上が必要である。
	組織、予算等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係（担当）部署へのつなぎ方や、採択後の担当部署への関わり方
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民及び担当部署（担当）への周知を行い、認知度を向上させ、実証実験を活用した課題解決につなげる。 	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	093 Society 5.0社会実装トライアル支援事業					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課	
市長公約	116			係名	共創イノベーション係	
戦略プラン	IV-1	2	1	社会実装トライアルの支援		新規・継続
						継続
						事業分類 自治事務（任意）
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業体制	職員のみ	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	全国の企業、研究機関、教育機関等
目的	新たなビジネスモデルの開拓を加速させるとともに市民生活の向上及び地域経済の活性化さらには先進的な取組に挑戦するまちとしてのプレゼンス確立に貢献する。
概要 (取組内容)	IoTやAIなどの革新的な技術を活用した製品、サービス等の社会実装に向けたトライアル（実証実験）を全国から公募し、実験場の提供やモニターの確保、費用補助等の支援を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	7,610	6,456	6,746	6,471	6,471	
	決算額	(千円)	5,351	0	4,677	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,550	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,801	0	2,338	0	0
		その他	(千円)	1,000	0	2,339	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,960	4,944	5,720	5,720	5,720	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	72.20	72.20	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	実証実験の関係者やモニターとしての協力
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	フィールド実験の実施件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績	4.0	5.0	6.0	5.0	5.0	0.0
指標の概要	(IV-1-②社会実装の推進によるイノベーション創出) 「Society 5.0 (超スマート社会)」の実現を目指すフィールド実験の実施件数 ※R1年度は採択5件のうち1件辞退						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 市の課題解決に資する一環の取組として、よりスマートシティの取組と連携のため、つくばスーパーサイエンスシティ構想で掲げている6つの分野や課題解決に資する課題設定を設けた。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の実現をより一層加速させることを目指し、その実現に資する実証事業を募集するべく、事業名称の変更を行った結果、提案件数の増加に繋がった。 提案21件（前年度15件）のうち5件を採択及び支援した。 SNS及びつくば駅へのポスター掲示並びにスタパイベントでの周知により、認知度向上に繋がった。 	
課題	業務	市民が科学技術の恩恵を感じるため、市民に対する支援事業の成果の認知度を向上すること。
	組織、予算等	令和6年度交付金の円滑な運用及び令和8年度以降の交付金終了後の予算の確保
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動に注力する。 実証実験の成果を市の課題解決に繋げるため、庁内関係部署との連携を強化する。 	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	045 市場・市民ニーズ調査事業（旧：未来技術等社会実装支援事業（仮称））					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課	
市長公約				係名	共創イノベーション係	
戦略プラン	IV-1	2	2	近未来技術等の社会実装の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	実証実験後のアフターフォローとして、実用化の直前あるいは実用化初期段階の支援を通じて、地域課題の解決や未来技術の質の改善を図り、市民生活の向上や地域経済の活性化を目指すこと
概要 (取組内容)	市域で実証した未来技術について、市民や市内事業者へ技術やサービスをホームユーステストとして試してもらい、市場性や改善すべき点などの調査を実施する。なお、調査方法としては、開発事業者がその技術やサービスの提供を行い、そのために必要な事前の改良費用やモニター利用料などを市が負担する形で、開発事業者と市が共同で行うことを想定している。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	決算額	(千円)	1,650	1,214	894	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	825	730	448	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	825	484	446	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,113	2,871	2,909	2,909	2,909	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	155.58	60.00	60.00	60.00	60.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	先端的なサービスや製品の試用
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	製品等の試用例数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	0.0	0.0	1.0	2.0	2.0	0.0
指標の概要	(IV-1-②社会実装の推進によるイノベーション創出) 本事業で支援した製品・サービスの件数						

2	指標名	(0)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	過年度、Society 5.0社会実装事業及び未来共創プロジェクト事業による実証実験実施者に対して事業案内を行った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・申請3件（1件は申請辞退）2件の共同事業を実施。 ・自治体SDGs取組状況診断・可視化ツールTSMUGI@を担当課部署にて来年度から導入検討となった。 ・XRを利用した宇宙教育「バーチャル宇宙飛行士アカデミー」を市内小学校及び義務教育学校にて体験会を実施し、コンテンツの改善点を把握できた。 	
課題	業務	申請が可能な事業者への事業の周知。 支援事業の成果を社会実装に繋げること。
	組織、予算等	令和6年度交付金の円滑な運用及び令和8年度以降の交付金終了後の予算の確保
改善目標	事務の円滑な実施。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	011 スマートシティの推進					担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課
予算科目	01-020108-19 スマートシティ推進に要する経費					係名	
市長公約	1	2	3	47			
戦略プラン	IV-3	1	1	地域の課題解決のためのスマートシティの		新規・継続	新規
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術振興指針（第2期）、つくば中心市街地まちづくり戦略					事業期間	毎年度
根拠法令等	国家戦略特別区域法、未来投資戦略、つくばスマートシティ倫理原則、スーパーシティ基本方針					SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう
							11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	民間事業者等との公民連携を進め、革新的な技術や多様なデータの連携による新たなサービスを迅速に社会実装することで、誰もが安全、安心、便利で快適な生活を送ることのできるヒト中心の未来都市の構築
概要 (取組内容)	国が進めるスマートシティ、スーパーシティ構想等の枠組みを最大限活用することで規制緩和を図り、大学・研究機関、企業等が持つ革新的技術と多様なデータ連携による新しいサービスの社会実装を推進する。具体的には、AI、IoT、ロボティクス、MaaS、ブロックチェーンといった先端技術を活用し、次世代モビリティサービス、多言語情報ポータルサイト、ネット投票などの地域課題の解決に資するサービスを展開する。

コストの推移

項目		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円) 3,000	67,211	204,524	165,002	165,002	
	決算額	(千円) 3,000	83,104	176,659	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 3,000	36,612	93,008	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	46,492	83,651	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 22,471	29,398	38,074	45,688	45,688	
	内訳	正職員従事割合	(人) 3.00	4.00	5.00	6.00	6.00
		正職員時間外勤務	(時間) 810.00	882.50	1,460.00	1,752.00	1,752.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	住民説明会、アンケート、ホームページ・つくスマ・SNSでの情報発信 等
企画・立案、計画	住民説明会 等
実行	アンケート、模擬住民投票、スマートフォン教室 等
評価、検証	住民説明会 等

指標の推移

1	指標名	先端技術を活用した新たなサービスの社会実装数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0
指標の概要	個別施策の指標「スマートシティの推進に係るプロジェクトの利用者満足度を増加させます。」を達成するために、事務事業の指標として「先端技術を活用した新たなサービスの社会実装数」を設定する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	内閣府、国交省等、多くの補助金を活用しつつ、可能な範囲で事業者にも負担してもらい実装を見据えた実証を実施した。	
成果	スーパーシティ型国家戦略特別区域の区域計画の変更認定が行われ、近未来技術実証ワンストップセンターを設置した。また、インターネット投票の模擬投票やパーソナルモビリティの走行実証、分身ロボットによる障害者雇用の可能性検証など、先端的サービスの実装に向けて様々な実証実験に取り組んだ。また、スマホ活用支援として、スマホ講座等の対象地域を市内全域に拡大して実施した。	
課題	業務	実証から実装への誘導
	組織、予算等	国等の補助金の効果的な活用
改善目標	国等の補助金を効果的に活用しつつ、事業者負担、ビジネス化を見据え調整をはかり、実装へつなげる。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	自動運転バス等実証事業、パーソナルデータ連携基盤の構築の委託料等を追加

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	012 デジタル情報プラットフォームの導入による地域との連携推進						
予算科目	01-020108-19 スマートシティ推進に要する経費				担当部課	政策イノベーション部科学技術戦略課	
市長公約	1	2	3	47	係名		
戦略プラン	IV-3	2	5	デジタル情報プラットフォームの導入によ		新規・継続	新規
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市情報化推進計画、つくば市科学技術振興指針（第2期）				事業期間	毎年度	
根拠法令等	国家戦略特別区域法、未来投資戦略、つくばスマートシティ倫理原則、スーパーシティ基本方針				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	
						11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	市民等の住民福祉・利便向上を図る。庁内や地域からの情報提供の共通基盤を整備し、これと連携する様々な市民向け情報提供アプリケーションの開発及び機能拡張に取り組む。
概要 (取組内容)	国が進めるスマートシティ、スーパーシティ構想等の枠組みを最大限活用することで、様々なデータを分野横断的に収集・整理し提供する「デジタル情報プラットフォーム」（データ連携基盤、都市OS）を構築し、産学官民が連携し活用することで、市民等に様々なサービスを提供する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	39,323	40,228	107,624	68,566	
	決算額	(千円)	0	35,358	36,145	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	17,681	18,073	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	17,677	18,072	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,980	18,374	22,845	22,845	22,845	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	2.50	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	540.00	551.57	876.00	876.00	876.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	住民説明会、アンケート、ホームページ・つくスマ・SNSでの情報発信 等
企画・立案、計画	住民説明会 等
実行	つくスマ（ダウンロード） 等
評価、検証	住民説明会 等

指標の推移

1	指標名	デジタル情報プラットフォームの利用事業者数 (社)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0
指標の概要	(IV-3-②)データで市民を豊かにするまちの推進) デジタル情報プラットフォームを利用してサービスを提供する事業者の数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	移動スーパーの位置情報提供、図書館カードや高齢者運賃割引証などの普段使いできる機能の提供を開始した。	
成果	つくばスマートシティ協議会「情報連携システム等基盤整備事業」として、分野横断的に様々なデータの利活用を図るための情報連携システム基盤整備（データ連携基盤、都市OS）及び市民向けに様々な情報を提供する多言語ポータルアプリ（つくスマ）を実装し、市民へサービス提供した。	
課題	業務	データ連携基盤と連携したつくスマでの具体的サービス提供
	組織、予算等	国等の補助金の効果的な活用
改善目標	データ連携基盤を活用する事業者を調整し、国等の補助金を効果的に活用しつつ、つくスマでの具体的なサービスを実装する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	つくスマの機能拡充（図書館蔵書確認等の外部連携、デジタルID活用 等）のため	